

【協議事項】

「埼玉県におけるGAPの推進について」

本説明資料を御覧いただき、回答様式により御意見、御提言をお願いします（質問等でも構いません。）

埼玉県における GAPの推進について

（説明資料）

農産物安全課

目次

- 1 GAPとは
 - (1) GAPとは何か
 - (2) 国内におけるさまざまなGAP
- 2 S-GAPについて
 - (1) S-GAP農場評価制度
 - (2) 推進目標と現状
 - (3) これまでの取組
- 3 GAPの取組推進にあたっての課題と対応策
 - (1) 生産者・実需者・消費者からの声
 - (2) 課題
 - 課題1 実需者・消費者のGAPへの認知度向上
 - 課題2 生産者のGAPへの理解促進

ギャップ

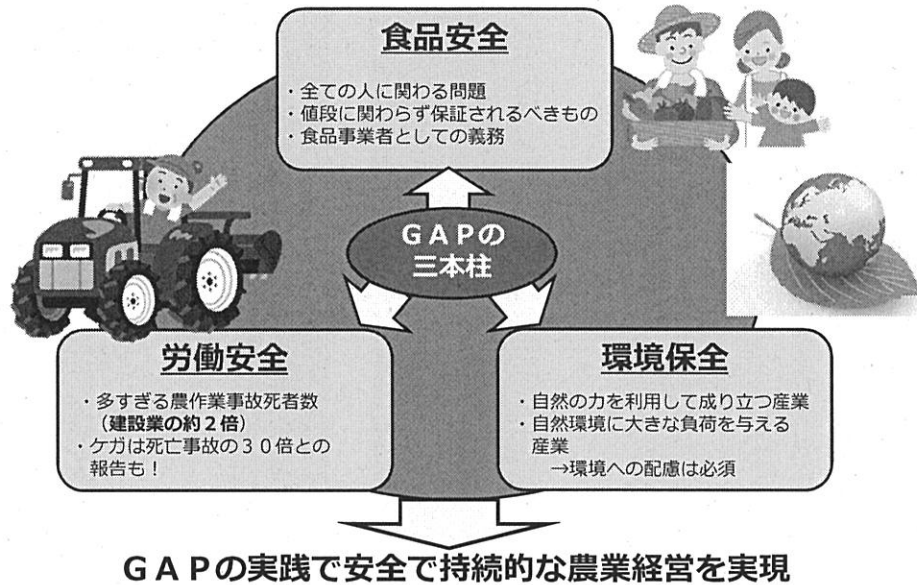
1 GAPとは

Good **A**gricultural **P**ractice
↓ ↓ ↓
良い 農業の やり方

【GAP誕生の経緯】

GAPの認証は、1990年代にヨーロッパで誕生しました。大手の小売業者が、仕入れる農産物の安全性を確保するため、どこから仕入れても大丈夫な生産工程管理のルールを共通化し、第三者による確認を求めたのが、GLOBAL.G.A.Pの始まりです。

GAPの三本柱



「GAPをする」と「認証をとる」ことの違いについて

「GAPをする」

農業者が、GAPを自ら実施すること。
(認証を取得しているかどうかは関係ない)

「GAP認証をとる」

第三者機関の審査により、GAPが正しく実施されているか確認し、証明すること。
→GAPを実施していることが、客観的に証明される。

なぜ、GAPが必要なのか

農業に携わる者に求められるGAP

- 1 産業としての農業の自立
- 2 企業の社会的責任、信用
- 3 企業の継続的発展
- 4 オリンピックを契機とする持続可能な社会へ

食品関連事業者も動き始めています

農林水産省のGAPパートナー（一部）：

GAPの価値を共有し、認証農産物を取り扱う意向を有している事業者。

「GAPを取引の要件にする」「直営農場でGAP認証を取得する」「GAP認証を積極的に推奨する」といった取組を行っている。

AEON

イトーヨーカドー



Coca-Cola

伊藤園

株式会社 神明
米の生産・流通支援

ニフレイ

watami

Ringer Hut

MOS BURGER

GAPの規範

良い農業かどうか判断するため、
何が「良い農業」なのかをまとめたもの

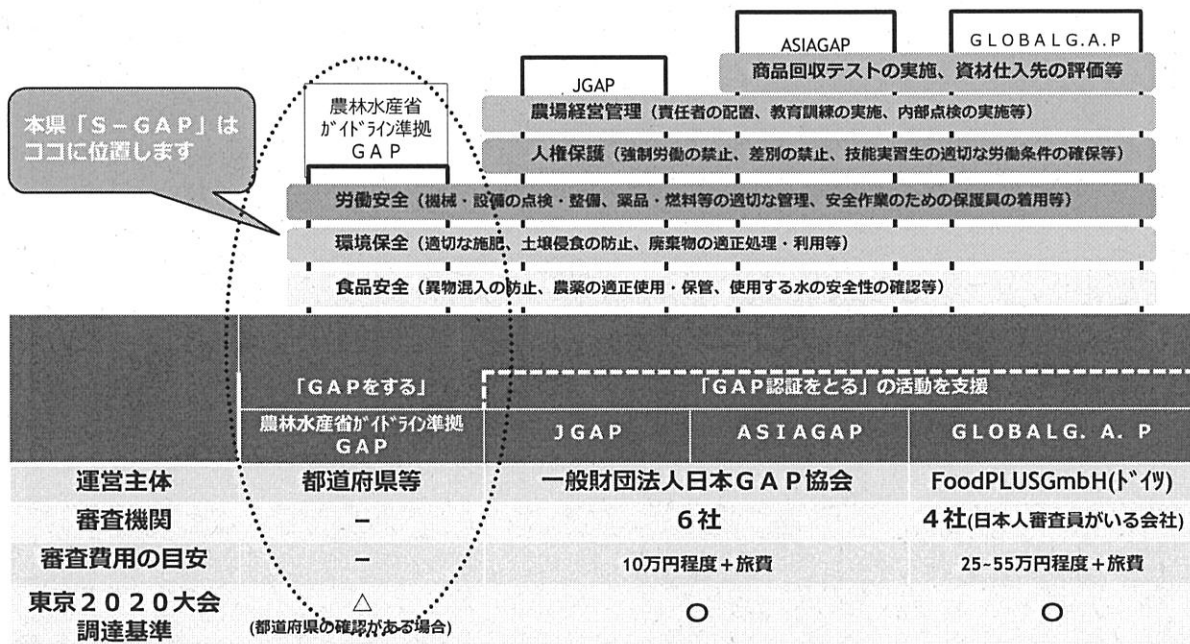
GAP規範 (Code of GAP)

【GAP規範の例】

- 『農業生産工程管理 (GAP) の共通基盤に関するガイドライン』
(農林水産省) → 通称：『国のGAPガイドライン』
- S-GAPガイドブック (埼玉県)**
- GLOBAL G.A.P.基準文書 (Food Plus)
- ASIAGAP、JGAP基準書 (日本GAP協会)



国内におけるさまざまなGAP (各GAPの構成、特徴)



エス ギャップ

2 S-GAPについて

S-GAPとは

S-GAPは埼玉県が作ったGAP規範(約50項目)

5つの特徴

1 国のガイドラインに準拠

4 県独自の農場評価制度を持つ

2 取り組みやすさを重視

5 指導も農場評価も無料

3 自己チェック方式



S-GAPガイドブック
(穀物、野菜、果樹、茶)

※農産物安全課ホームページで公開中！
(「S-GAP」で検索)

S-GAP農場評価制度

県の職員が農場を訪問し、S-GAPの実践状況について客観的に評価する制度

1 農場評価の必要性

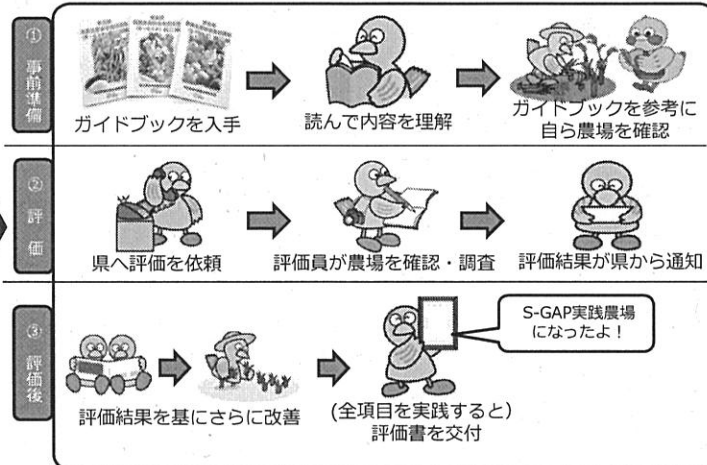
S-GAPに取り組んでいるけど・・・

本当にできてるのかな？
勘違いしてないかな？

他の人に取り組みを知ってもらいたいな

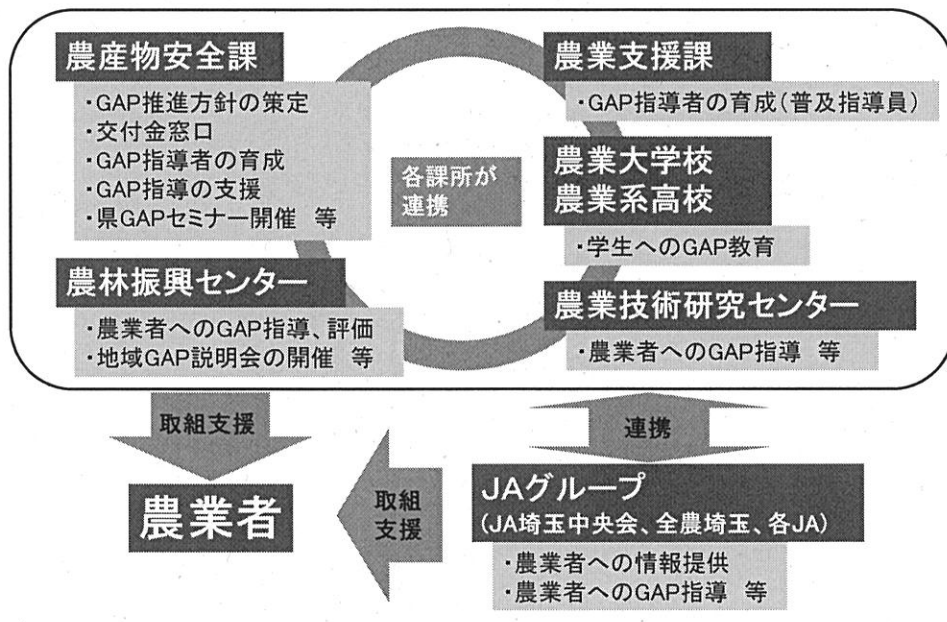
生産者からの要望

2 農場評価の流れ



農場の「どこに」「どの程度」の問題があるかが明らかに → 経営の改善に！

埼玉県のGAP推進体制



埼玉県内のG A P 取組状況

【民間の認証GAP】

GLOBALG.A.P.・・・9件(野菜5、穀物2、果樹1、種苗1)

JGAP6件(野菜6)

ASIAGAP9件(野菜4、青果物・穀類1、茶3、きのこ1)

※農場数は71農場

【S-GAP実践農場(S-GAPの全項目を実践)】

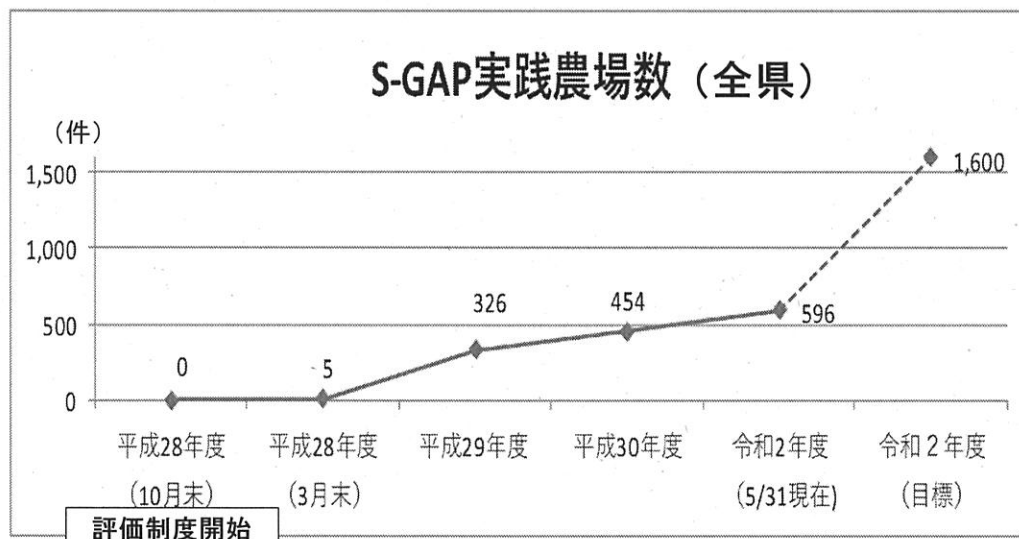
596農場(野菜359、穀物71、茶145、果樹21)

・目標は1,600農場(令和2年度末)

※令和2年5月31日現在

※畜産・花きを除く県内の主業農家約8,000のうち
2割がS-GAP実践農場になる という目標

S-GAP実践農場数の推移(全県)



これまでの取組

S-GAP農場評価制度の普及、指導者の育成

セミナーの開催



研修会の開催



啓発資料の作成



埼玉県は
S-GAPを推進しています
* Good Agricultural Practice - 良農法実践



S-GAPとは…
埼玉県作成したS-GAPは、
東京都が主催する東京オリンピックの
推進で急速に普及しています。
また、S-GAPに取り組んでいる農家で
S-GAP実践農場として評価されています。

実践農場で **増加中**

消費者・実需者へのPR

商談会への出展



ニューフードフェア

イベントでのPR



東京オリンピック・パラリンピック
1年前イベント



農商工連携フェア



県庁オープンデー

3 GAPの取組推進にあたっての課題と 対応策

GAP実践生産者からの声

取り組んで良かったこと

- ・多くの改善点が見つかり、安全性や作業効率が高まった
- ・整理整頓を行ったり、記録をつけることでコストの削減につながった
- ・S-GAPは特別な費用もかからず取り組みやすい
- ・大変だと思ったが、実際に指導を受けたら容易に取り組めた

要望・意見

- ・もっとGAPをPRしてほしい
- ・実践農場で作られる農産物を仕入れる業者が増えると良い

GAPの実践に消極的な生産者からの声

個人からの意見

- ・ 整理整頓や記録を続けるのが大変（手間がかかると感じる）
- ・ 販売先から求められていない
- ・ 販売価格に反映できると良いのだが、反映されていない
- ・ 自分は取り組みたいが、親と意見が合わず断念している
- ・ GAPを実践しても、周囲からの評価が感じられない

生産者集団からの意見

- ・ 集団で取り組みたいが、集団内での合意形成が難しい
- ・ 大変なことだ、という先入観を持っている人が多い

実需者・消費者からの声

小売業（スーパーなど）

- ・ GAPの主旨は理解できる
- ・ GAPを取引要件にすると、荷が集まらない
- ・ 消費者のGAP制度に対する認知度が低く、特に求められていない

消費者

- ・ GAP制度のことを知る機会が少ないので、内容がよく分からない
- ・ どこでGAP農産物が買えるのか分からない

GAP実践者へのアンケート結果より

(対象:S-GAP実践農場100名 回答数83)

問 S-GAPに取り組んで感じられる効果
(複数回答あり・上位項目のみ抜粋)

| | 回答数 | 割合(%) |
|-----------------|-----|-------|
| 食品の安全性の向上 | 64 | 77 |
| 農作業時の安全確保 | 63 | 76 |
| 生産者の意識向上 | 44 | 53 |
| 環境保全 | 40 | 48 |
| 消費者に対するアピールができる | 36 | 43 |
| 品質の向上 | 34 | 41 |

問 S-GAP実践者のさらなる増加のためには
(複数回答あり)

| | 回答数 | 割合(%) |
|---------------------------------------|-----|-------|
| 消費者のGAP制度に関する認知度の向上 | 62 | 75 |
| GAP評価農場で生産された農作物を積極的に仕入れてくれる業者の増加 | 48 | 58 |
| GAP評価農場で生産された農作物を使用した外食事業者(レストラン等)の増加 | 24 | 29 |
| GAP導入効果(コスト削減や農作業安全性の向上等)のPR | 20 | 24 |
| 農場評価制度のPR | 20 | 24 |
| その他 | 7 | 8 |

課題1 実需者・消費者へのGAPの認知度向上

～買ってくれる消費者がS-GAPを知らなければ、生産者は作らないし流通は扱ってくれないのではないか～

〈これまでの取組〉

- 県物産観光協会と連携し、日本生命本社、NHK放送センター、ソニックシティそぴあ でS-GAP農産物（トマト）を販売
- アグリフードEXPO、ニューフードフェア、農商工連携フェアに出展し、PR
- 流通企業等を県が訪問しPR（ヤオコー、学校給食会）



ご意見および、推進委員でできることのご提言をお願いします

- ① **GAPそのものの価値を高める（周囲からの評価を上げる）には、どんな手法があるか**
（例）教育機関での子ども・学生への継続した周知
- ② **GAPの認知度を高めるために効果的なPRは何か**
（例1）県内の飲食店と連携した、「GAP食材フェア」の開催
（例2）企業・団体等が発行するNEWS LETTERなどで広報
- ③ **GAP実践農場で生産された農産物の流通を広める方法は**
（例1）県内のスーパーにおける、GAP実践農場で生産された作物の販売
（例2）スーパー等の仕入れ担当者にGAP指導員の資格を取得してもらい、生産者と一体となって推進していただく

課題2 生産者のGAPへの理解促進

～より多くの生産者に取り組んでもらうために～

〈これまでの取組〉

- 流通・加工・飲食業者、消費者、生産者を対象とした研修会やセミナーを開催
- S-GAPバスツアーを開催し、生産者にS-GAPを実践している農場を実際に見てもらう（他人の農場を見る機会は、普段からなかなかない）
- 生産者集団の会合等での情報提供



ご意見および、推進委員でできることのご提言をお願いします

- ①個人の生産者への誘因は何か良いか
- ②生産者集団での合意形成のために有効な手段はあるか